回覧 形原地区

形原地域学校協働本部だより

形原みらい工房

～形原の学校と地域の未来を考える～

NO. 28

2026.10.25

形中1年 形原の魅力にさらに迫る！

現地見学（７か所）
利生院・稲葉製綱・宗徳寺・あじさいの里・形原神社・形原城跡・デンソー太陽の家


宗徳寺


デンソー太陽の家


形原城跡

５月の形原ウォークラリー後、形中１年生は、歴史・食べ物・漁業・観光や企業など、さまざまな視点から地域について学ぶ「形原の魅力にさらに迫る！」部局活動を実施しました。

６～９月にかけて、生徒たちは現地を訪れて地域の方からお話を伺ったり、自分たちで考えたがまごりうどんや油菓子、餅パイを調理・試食したり、チャラボコ演奏を鑑賞体験したりするなど、普段の学校生活ではできない貴重な体験を重ねることができました。

生徒たちは「祭りや歴史について、当たり前だと思っていたことに多くの人の思いが詰まっていることがわかりました」「形原のことを知らない家族に教えてあげたい」「自分で調べてきたけど、まだまだ知らないことがあったので、話を聴けて良かった」と話していました。

今回の活動では、多くの地域の皆様にさまざまな場面でご協力をいただきました。地域の魅力や温かさに触れる貴重な機会となりました。ご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

講演（８講座） 加藤煙火・栄軒・ヤマスイ・形原五七巳午紙芝居同好会
順風丸・拾石チャラボコ保存会・御嶽エーン曳保存会・てしごと工房道～琉


チャラボコ体験


三河地震紙芝居鑑賞


地元オリジナルメニューづくり体験


手筒花火講座


魚拓体験


歴史講座（形原松平・エーン曳き）

形小6年 地域の方と防災教育





9/3(木)、形原小６年生が１区総代天野さんをお迎えして、地域の防災訓練や炊き出しについてお話をしていただきました。避難する時に、自分の宝物を１つ持って行くと心の支えになることをアドバイスしていただきました。

また、９/28(月)、葵みつば会をはじめとした地域の方をお招きして、子どもたちの考えた「防災食レシピ」にアドバイスをもらいました。各班ごとに栄養面や見た目、切り方の工夫を教えていただきました。どんな防災食レシピができるのか楽しみです。

形北1年 砂遊び・泥だんご





9/30(水)・10/2(木)、形北小１年生は、おやじの会のみなさんが廃材を利用して作った砂場で砂遊びをしました。バケツに砂を集めて山を作ったり、友達と協力してトンネルを掘ったり、水を流してウォータースライダーを作ったりしました。子どもたちは思い思いに遊びを広げ楽しみ、土や砂に触れながら友達と一緒に活動する喜びを感じとる時間を過ごしました。

今回は地域の「泥だんご名人」に来てもらい、まん丸に出来た泥だんごを見せてもらいました。子どもたちから「僕も泥団子つくりたい」という声が上がり、次回は泥だんご作りをすることとなりました。どんな作品ができるか楽しみです。

形北1年 サラダでげんき

9/16(水)・18日(金)、形北小１年生は、国語「サラダでげんき」の学習で、自分たちの「元気サラダ」を作るため、「こども食堂かたはらつむぐ広場」にて活躍をされているみなさんをゲストにお招きし、インタビューを行いました。

子どものたちから「おうちのサラダで、とっておきのざいりょうはなんですか。」と質問をすると、ゲストの方々から、とっておきの材料や、その材料を入れるとどんなサラダになるのかを教えていただきました。



子どもたちは、「うちのサラダとはちがうよ。」「とっておきの材料を入れると、どうなるの？」「おいしそう！」など、感じたことを素直に言葉にしながら、興味津々にインタビューをしていました。地域の方々とのやり取りを楽しみながら、たくさんのサラダのアイデアをもらうことができました。

【文責　形原地区地域コーディネーター　櫻間寿人】